

# 学術情報センターだより

Library and Information Technology Center Nagoya Women's University

## 情報を見極める

中西 康祐 (医療科学部 作業療法学科長)

皆さん、「情報リテラシー」という言葉をご存じだろうか。昨今、耳にする機会が増えた言葉である。リテラシー (literacy) とは、もともとは「読み書き能力 (の程度)。その時代を生きるために最低限必要とされる、素養。」<sup>1)</sup> のことを意味する。そこに「情報」という言葉をつけて「情報リテラシー」となる。その定義は、総務省の通信白書によると「情報機器の操作などに関する観点から定義する場合(狭義)と、操作能力に加えて、情報を取り扱う上での理解、更には情報及び情報手段を主体的に選択し、収集活用するための能力と意欲まで加えて定義する場合(広義)」<sup>2)</sup> と記されている。

令和の時代を大学生として生きる人たちは、児童生徒のころからパソコンやスマートフォンなどの情報機器を活用し、さまざまな情報に触れる機会を得てきたのではないだろうか。こうした便利なツール (道具) は、欲しい情報をすぐに取り出せるため、豊かな生活を実現する補助具としてのメリットが大きい。その反面、大学教育において教養を高め、社会人スキルや専門スキルを身に付ける過程においては、使い方次第でそれらを妨げるツールにもなり得る。

大学では、これらのスキル向上を教育目標の一つとして掲げ、それを達成する手段としてレポート課題や発表課題などを課すことがある。そこではエビデンス (根拠) を踏まえた論説が求められるため、学生は学術論文の先行研究や公的機関の資料などを引用して、エビデンスを担保した課題作成に励むことになる。

しかしながら、一定のエビデンスを高め得る資料にたどり着くには、相応の情報検索スキルが必要であり、慣れないうちは苦勞するものである。そんな不慣れた学生の前に登場する甘い罠が、インターネットに溢れるありとあらゆる情報である。一見、すぐに飛びつける正しい情報も、基本的な情報リテラシーを備えていなければその正確さを見極めることはできないのである。

本学の学術情報センターは、学問の礎でもある豊富な学術書を蔵書した図書館機能をはじめ、学生の学びにとって非常に有益な情報検索ツールを備えている。デジタルの時代に生きる学生にとっては面倒に感じる作業かもしれないが、文献や学術書のページをめくりアカデミックな時間の中に身を置くことは、大学生の時にしかできない情報リテラシーも高め得るアナログな経験である。そして、その積み重ねで得られるのが教養である。教養は目に見えにくいために、卒業して社会で色々な経験をして気づくことも多いが、確実に自分の価値を高めるものであり、社会を俯瞰する力の栄養となる。大学生生活を過ごす時間を得た学生の皆さんには、是非、社会に貢献し社会から信頼される人材となり活躍できるように、情報リテラシーを高めてアカデミックな時間を過ごしてほしい。

1) 山田忠雄 他 (編): 新明解国語辞典, 第八版, 三省堂, 東京, 2020.  
2) 総務省: 平成10年版 通信白書 第1章 デジタルネットワーク社会の幕開け～変わりゆくライフスタイル～ 第3節 情報リテラシー (online).  
<<https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/h10/html/8wp1-3-1.html>>. (参照 2023-4-14).

## ◎ 目次 ◎

巻頭言	p. 1
令和4年度学術情報センター利用者アンケート結果報告	p. 2
学修環境のリニューアルについて	p. 4
図書館・学生インターンシップ展示History	p. 4
令和4年度大学図書館利用状況の報告	p. 4
おしらせ	p. 5

# 令和4年度 学術情報センター利用者アンケート結果報告

学生の皆さんの利用状況を把握することで必要な学習支援を提供できるよう、利用者アンケートを毎年実施しています。令和4年度は、3年目となったコロナ禍において引き続き一部サービスが制限される中、情報資源や施設を十分に利活用できているか確認することを目的として実施しました。回答結果を以下の通り報告します。

### 利用者アンケート実施要綱

- ・実施期間：令和4年12月12日(月)～23日(金)
- ・実施方法：学生ポータルサイト(Campusmate)
- ・回答数：312人



## アンケート回答

### 回答者内訳

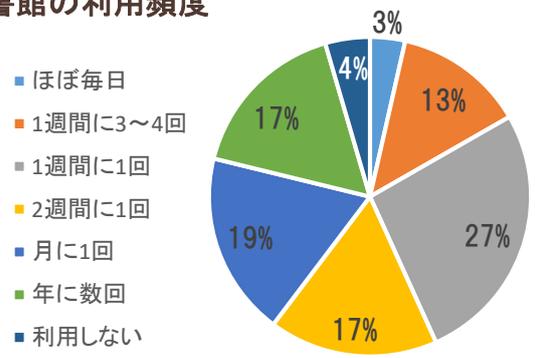
学科	学科	回答者数	構成比率
健康栄養学科		99人	32%
看護学科		35人	11%
生活環境学科		37人	12%
理学療法学科		14人	4%
作業療法学科		7人	2%
児童教育学専攻		16人	5%
幼児保育学専攻		38人	12%
生活学科		26人	8%
保育学科(第一部)		17人	5%
保育学科(第三部)		23人	7%
合計		312人	100%

学年	学年	回答者数	構成比率
1年		123人	39%
2年		82人	26%
3年		65人	21%
4年		42人	13%
合計		312人	100%

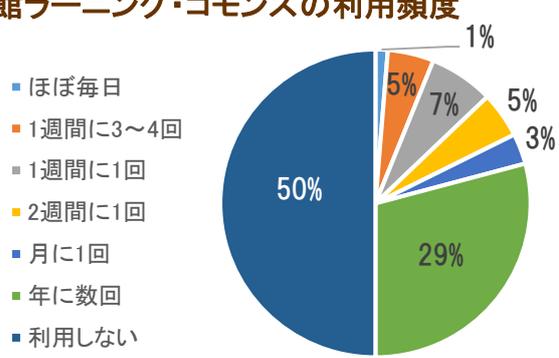


### 利用頻度と目的

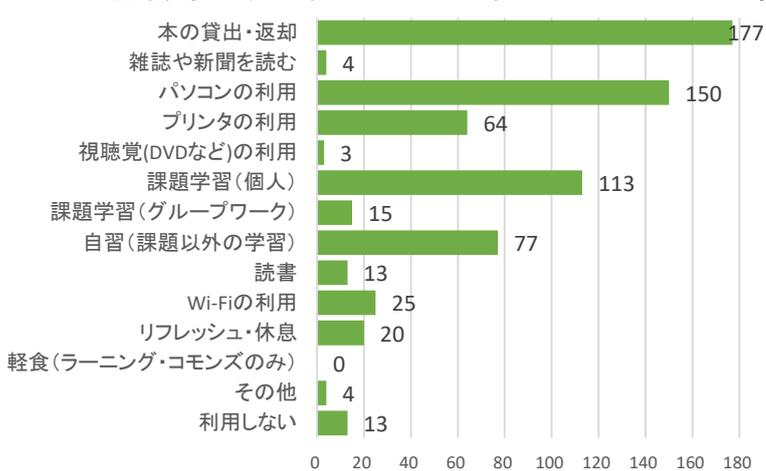
#### 図書館の利用頻度



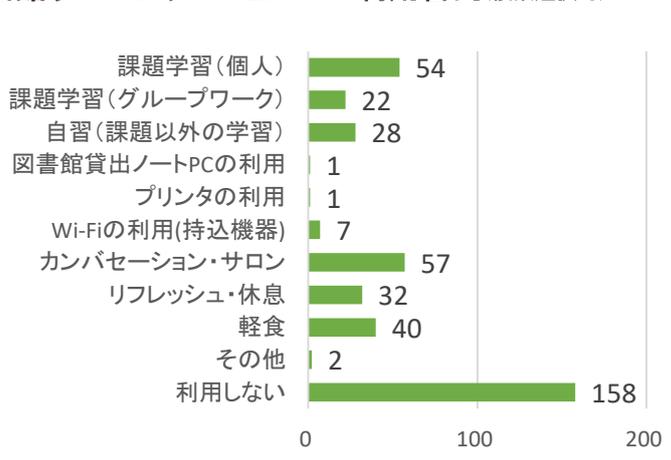
#### 西館ラーニング・commonsの利用頻度



#### 図書館の利用目的 (複数選択可)

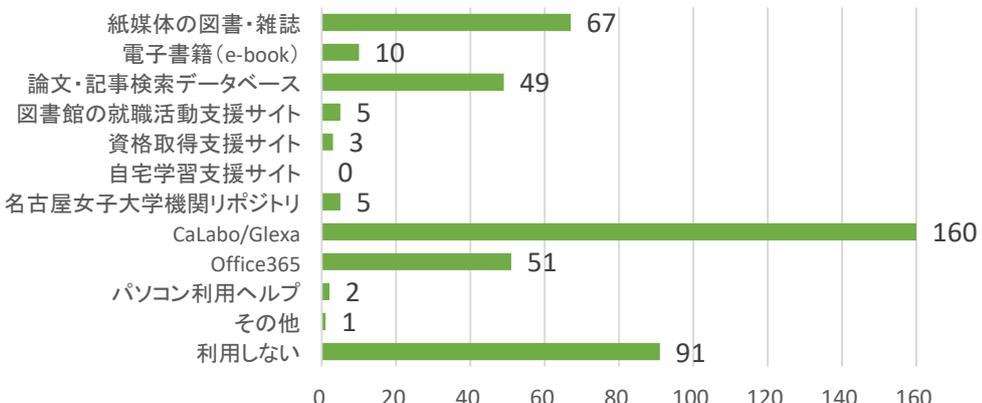


#### 西館ラーニング・commonsの利用目的 (複数選択可)



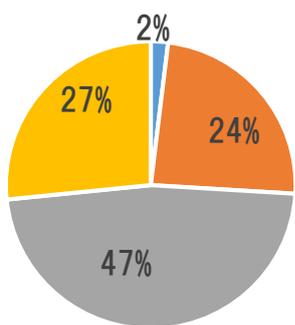
# 令和4年度 学術情報センター利用者アンケート結果報告

## 学術情報センターの資料・コンテンツで学習・研究のためによく使用するもの(複数選択可)

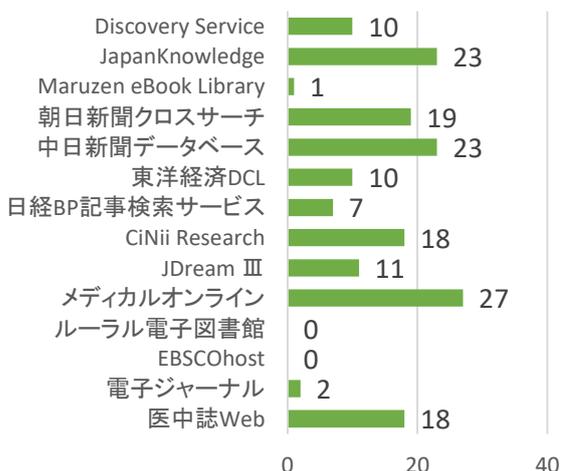


## 図書館の「学外からのデータベース利用」の利用頻度

- よく利用している
- たまに利用している
- 知っているが利用したことはない
- 利用できることを知らなかった

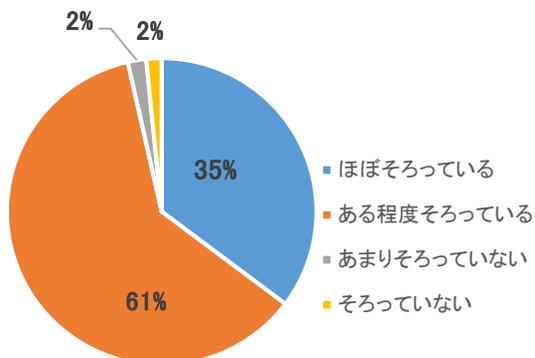


## 「よく/たまに利用している」と答えた場合、何を利用しているか(複数選択可)

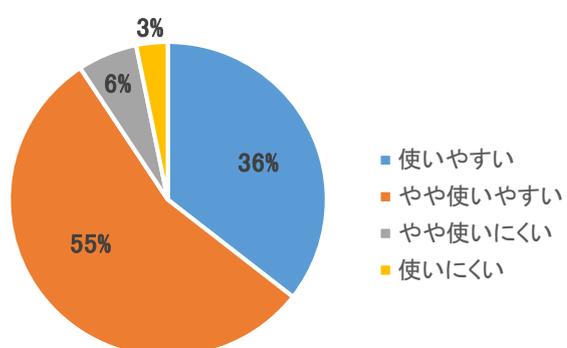


## その他

### 図書館に利用したい資料はそろっていますか？



### CaLabo/Glexaは使いやすいですか？



## まとめ

昨年度より多くの方に回答していただき、ありがとうございました。約6割の方が2週間に1回以上は図書館を利用しており、来館型の利用が戻りつつあるようです。学外からのデータベース利用方法もリニューアルして便利になりましたので(p.4参照)、今後積極的に活用してください。また、「CaLabo/Glexa」は多くの方に利用されており使い方にも慣れてきた様子が見られます。学術情報センターでは、皆さんからの意見を参考に今後もサービス向上に努めていきます。

# 学修環境のリニューアルについて

## コンピュータ演習室／自習室のリニューアル

新年度を迎えるにあたり、一部コンピュータ演習室・自習室のデスクトップパソコン一式を新しい機種に入れ替えました。従来に比べて、処理性能が向上しています！

コンピュータ演習室・自習室はみなさんの共用資産です。大切に、きれいに使っていきましょう。

### 令和5年度 パソコン入替え済演習室/自習室

- ・南2号館 202コンピュータ演習室 (60台)
- ・南2号館 301コンピュータ演習室 (60台)
- ・南8号館 303コンピュータ演習室 (60台)
- ・図書館棟 210コンピュータ自習室 (32/60台)

Updated!

静音&快適なパソコンでみなさんの学修をサポートします!



### ヒント

年間の印刷ポイントの上限は500ポイントです。引き続き印刷ポイントの節約も心がけましょう。節約方法は[こちら](#)から確認してください。

明日のために資源節約!



## 学外からのデータベース利用について (OpenAthens)

令和5年4月より、学外から本学契約電子リソース（データベース・電子ジャーナル・電子ブック）にアクセスするための新しいサービスとして、OpenAthensの提供を開始しました。

OpenAthensでは、シングルサインオンにより一度の認証でパソコンやスマートフォンなどのモバイル端末を通して、本学が契約する電子リソースにどこからでもアクセスすることができます。

ユーザー向けのポータルサイトMyAthensにログインすると、データベースや電子ジャーナルなどはもちろん、蔵書検索や使い方説明動画など、文献検索に役立つツールにまとめて効率的にアクセスすることができます。ぜひ活用してください。



▼MyAthensのTOPページ

▲OpenAthensへのログインはこちらから



# 図書館・学生インターンシップ 展示History

昨年度は学生インターン生が企画したテーマ展示を定期的で開催しました。それぞれの学びや思いが詰まった展示Historyを紹介します。

2022.7

「最初の読者募集中! ~こどものとも編~」



みんな大好き『こどものとも』。でも、中には誰にも借りられていない本がありました! 「知って欲しい、読んで欲しい」。そんな思いの詰まった展示でした。

2022.9

「愛知の宝：有松・鳴海絞り」



「夏・浴衣・絞」との発想で準備を始めましたが、有松・鳴海絞の歴史や町の歴史にも触れた深みのある展示となりました。

2022.12

「山脇百合子追悼展示 『ぐりとぐら』に会わせてくれてありがとう」



展示担当者からひとこと!

『ぐりとぐら』シリーズを含め、ステキな作品が多くあると知りました。山脇さんの作品に皆さんもふれてみてください!! (T)

2023.1

「世界を翻弄した更紗：その起源と伝播について」



展示担当者からひとこと!

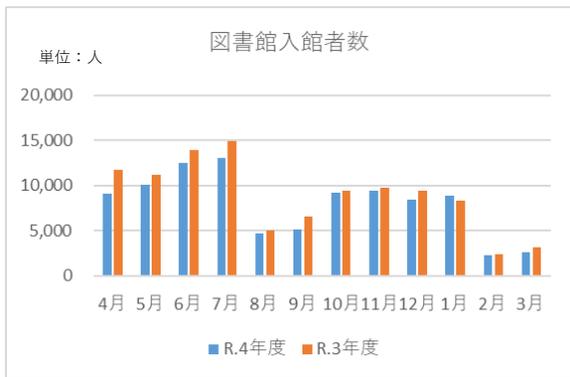
図書館にこんなにたくさん資料があるなんて驚きました。学生の皆さんもぜひ活用してください!! (K)

画像をクリックすると展示ポスターが開きます

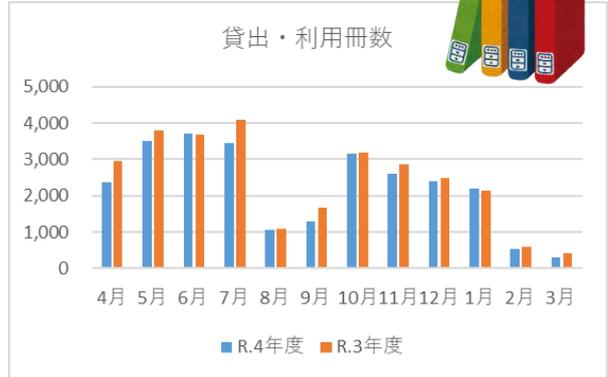
To be continued!

# 令和4年度 大学図書館 利用状況の報告

学術情報センター 大学図書館の令和4年度 利用統計を報告します。



	年間入館者総数	一人当たりの入館数
R.4年度	95,195 人	45.1 回
R.3年度	105,757 人	44.9 回



	年間貸出総冊数	一人当たりの貸出冊数
R.4年度	26,560冊	12.6冊
R.3年度	29,006冊	12.3冊

入館者数および貸出・利用冊数のいずれにおいても総件数では昨年度に比べて減少が見られました。しかしながら、学生一人当たりの入館数・貸出冊数は大きく変わらず、コロナ以前と比較して増加傾向にあります。この5月からはコロナ影響によるサービス制限を緩和し、サービスを再開・拡充していきます。それぞれの学修スタイルに合わせて、図書館の施設と資料を積極的に活用してください。

## お知らせ

### 学内Wi-Fi対応教室が増えました

学内のWi-Fiエリアが拡大され、これまでの公共エリアや大講義室等に加え、2023年4月からすべての講義室でもWi-Fi接続が可能となりました。

Wi-Fi接続には学内アカウント情報（ユーザー名・パスワード）が必要です。接続方法はマニュアルを確認してください。

◆学内Wi-Fi接続エリア一覧はこちら

### Wi-Fi フリーWi-Fiの利用には注意！

学内のWi-Fiはユーザ認証により安全に利用できますが、公共施設や店舗などでフリーWi-Fiを利用するときは十分に注意しましょう。暗号化されていない、悪意を持って設置されたなりすましアクセスポイントもあり、個人情報が盗まれる可能性があります。以下の点を確認してから利用しましょう。

- ◆ 自動でWi-Fi接続せず、接続先を確認
- ◆ Wi-Fi接続画面に🔒マークがあるか確認
- ◆ 暗号化されたWebサイト(https://)を利用



### “はぐくむ図書館”活動

#### ちゅりっぷ スタンプラリー活動

図書館サポーター「ちゅりっぷ」主催の図書館スタンプラリーも5年目に入りました。多くの方に参加していただき、名女生の読書の輪が広がっています。

この4年間でスタンプラリーを達成した方は総計53名！[集計結果](#)をご覧ください♪



スタンプカードは図書館でGET！  
30ポイントごとにプレゼントがあります♪

#### 大学図書館 絵本おはなし会を再開！



コロナ下において一時休止していた大学図書館での「絵本おはなし会」を、6月より再開します。学生ボランティアの新規活動にご期待ください。

名古屋女子大学 学術情報センターだより 80号

発行日：令和5年6月10日 発行：名古屋女子大学学術情報センター  
学術情報センターWebサイト <https://lsic.nagoya-wu.ac.jp>

〒467-8610 名古屋市瑞穂区汐路町3-40  
TEL：図書館(052)852-9768 システムサービス(052)852-1120